

平成21年度

決算報告書

自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日

国立大学法人 名古屋工業大学

第6期事業年度

平成21年度 決算報告書

国立大学法人名古屋工業大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,053	5,035	△18	(注1)
施設整備費補助金	712	1,008	296	(注2)
補助金等収入	37	892	855	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	28	28	-	
自己収入	3,558	3,609	51	
授業料、入学料及び検定料収入	3,443	3,438	△5	(注4)
雑収入	115	171	56	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,949	1,958	8	(注6)
目的積立金取崩	677	871	194	(注7)
計	12,014	13,401	1,387	
支出				
業務費	7,244	7,504	260	
教育研究経費	7,244	7,504	260	(注8)
一般管理費	2,044	2,011	△33	(注9)
施設整備費	740	1,036	296	(注10)
補助金等	37	867	830	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,949	1,798	△151	(注12)
計	12,014	13,216	1,202	
収入－支出	-	185	185	

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、退職手当が予定より少なかったため予算金額に比して決算金額が18百万円少額となっています。

(注2) 施設整備費補助金については、国からの平成21年度補正予算の追加により予算金額に比して決算金額が296百万円多額となっています。

(注3) 補助金等収入については、予算作成段階では予定していなかった国からの補助金獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が855百万円多額となっています。

(注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、平成22年度入学者に係る授業料前納額の減少等により予算金額に比して決算金額が5百万円少額となっています。

(注5) 雑収入については、主として本学独自の公開講座のプロジェクトの拡大及び特許権収入の増収等により決算金額が56百万円多額となっています。

(注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった国（の各組織、特殊法人及び民間）からの受託研究等の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が8百万円多額となっています。なお、前期からの繰越額は154百万円となっています。

(注7) 目的積立金取崩については、余剰金の残額にかかる執行が計上されたため、予算金額に比して決算金額194百万円が多額となっています。

(注8) 教育研究経費については、教育研究の充実を図ったため予算金額に比して決算金額が260百万円多額となっています。

(注9) 一般管理費については、事務効率化に伴う経費の削減により、予算金額に比して決算金額が33百万円少額額となっています。

(注10) (注2) に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が296百万円多額となっています。

(注11) (注3) に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が830百万円多額となっています。

(注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、翌期への繰越のため予算額に比して決算額が151百万円少額となっています。